

平成22年度「基礎・基本」定着状況調査結果報告

平成22年9月29日

広島市立中広中学校

はじめに

この調査は、『学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、特に、「読み・書き・計算」などの基礎的な内容とともに、思考力・判断力・表現力などの定着状況や、生徒の生活や学習に対する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握することをとおして、各学校が自校の課題を明確にし、指導内容や指導方法の改善・充実を図ることを趣旨としている。（教育委員会説明）』という趣旨で中学2年生を対象に平成14年度から実施されているものである。

調査の内容は、生活や学習全般と国語・数学・英語の3教科である。

生活・学習の調査結果について(右表)

各質問に対し、前向きな回答をした生徒の割合のパーセンテージを、中広中学校(今年と昨年)・広島県・広島市について示している。現在の中学生一般の状況は広島県の結果から見ることで、それと比較することで本校の特性も明らかにすることができる。特に県・市と本校との間に差が見られるものや今年の生徒の顕著な傾向には太枠をしている。

■「生活に関する調査」について

- ・地域の活動に参加していると回答した割合が高い。
- ・ゲームやテレビの時間は少なく、読書を好む傾向がある。
- ・自己実現力・自己効力感が弱く、物事に対する積極的な取組が出来にくい。

■「学習に関する調査」について

- ・家庭学習がまだ少ないが、増加している。（予習・復習・ふだんや休日の学習時間）
- ・学習動機が弱く、他律的であり、目標を持つことや活動に対する積極性が弱い傾向がある。
- ・学習への取組方が、自分で考えて答えを出そうとする意識が低く、成果が上がりにくい。

■調査結果から

「勉強は頑張っているが、自分の目標を持ち、ねばり強く深く考えたりすることが苦手」といった生徒像が見えてくる。諸活動に積極的に取り組んだりすることが成績を伸ばす事にもつながることを示唆し、より有意義な中学校生活が送れるよう指導する。

- ・「わかる授業づくり」・・・教え合いや小グループを取り入れた授業展開を工夫する。
- ・「家庭学習の定着」・・・週末課題などを出し、家で何をどのようにするのか具体的な指導をする。
- ・「学習意欲の増加」・・・家庭学習時間はかなり増加したが、その内容に形式的な面が見える。将来を見据えた学習の目的を持たせるよう、保護者の方にも協力していただき指導していく。
- ・「定期テストへの取り組み」・・・朝の学習会や個人指導を行い、生徒の学習の援助をする。

<調査結果>

■生活に関する調査			あてはまるの割合			
番号	区分	設問	中広中		広島県	広島市
			今年	昨年		
1	生活習慣	毎日朝食を食べています。	93.3	92.1	94.5	94.7
2		ふだん(月曜日～金曜日)、同じくらの時刻に寝ています。	78.2	83.1	82.8	81.4
3		ふだん(月曜日～金曜日)、同じくらの時刻に起きています。	87.6	89.3	93.7	93.1
4		外に出て運動(部活動を含む)をするなどして体を動かしています。	74.1	80.3	80.1	78.3
5	社会的 事象への関 心や体験	新聞やテレビのニュースを見ています。	72.5	73.6	73.3	70.2
6		社会の出来事や事件などに関心があります。	58.5	65.2	61.7	58.3
7		地域や子ども会などの行事に参加しています。	45.1	44.4	40.9	31.8
8		学校や社会のルールを守っています。	77.7	83.1	85.3	84.6
9	読書動機	近所の人や家の人にあいさつをしています。	82.9	82.0	87.3	86.2
10		本を読むのが好きです。	72.5	69.1	71.1	69.7
11		読んだ本の内容について、友達や家族と話をしています。	51.3	38.8	42.6	41.1
12		家で本や資料などを利用して学習しています。	40.4	33.7	42.9	39.7
13	自己実現 力・自己効 力感	将来の夢や目標をもっています。	68.4	75.8	74.9	74.1
14		将来の夢や目標は、かなうと思います。	54.4	58.4	60.9	59.0
15		自分には、よいところがあります。	49.7	65.7	59.1	56.5
16		自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。	43.5	43.3	47.3	45.3
17		努力すれば、自分もたいていのことはできると 생각합니다。	67.9	77.5	78.1	76.9

18	生活習慣	ふだん(月曜日～金曜日)、1日何時々時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしてますか。	2時間より少ない	33.7	33.2	37.6	36.5
19		休日(土曜日・日曜日・祝日など)、1日何時々時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしてますか。	2時間より少ない	18.9		17.5	18.0
20	読書活動	1ヶ月に何冊くらい本を読んでいますか。(教科書や問題集、漫画、雑誌をのぞきます)	3冊より少ない	70.9	69.7	66.7	70.1
21		1週間(土曜日・日曜日を含む)、家では、何時間ぐらい読書をしていますか。(教科書や問題集、漫画、雑誌をのぞきます)	1時間より少ない	62.2	66.5	68.7	70.5

■学習に関する調査			あてはまるの割合			
番号	区分	設問	中広中		広島県	広島市
			今年	昨年		
1	全般	学校へ行くのは楽しいですか。	80.3	84.8	83.5	83.7
2	学習習慣	学校の授業の予習をするようにしています。	23.3	19.7	34.0	33.3
3		学校の授業の復習をするようにしています。	34.7	28.7	48.3	45.3
4		学校で習ったことをふだんの生活の中で思い起こしたり、利用したりしています。	46.1	49.4	54.6	51.4
5	思考力	自分で勉強の計画を立てています。	33.7	34.3	45.0	42.5
6		分からないことはそのままにせず、分かるまで努力しています。	52.3	55.6	63.0	61.7
7		ものごとを解決したり決めたりするとき、なぜそうなるか理由を考えています。	54.4	56.2	60.0	59.7
8		見たことや考えたことを人に伝えるとき、どのような順番で説明すると分かりやすいか考えています。	48.2	50.6	56.9	56.2
9		ものごとを解決するとき、たぶんこうではないかと予想しています。	67.4	73.6	74.1	74.3
10	表現力	自分の考えと他の人の考えを比較しながら聞いています。	53.4	64.0	62.7	63.0
11		ものごとを解決する方法をいくつも考えています。	48.7	45.5	51.0	49.7
12		自分と違う意見も受け入れながら、自分の考えを話しています。	53.9	67.4	64.4	64.7
13		困ったときや腹が立ったときなど、解決するために、相手が納得するように自分の気持ちを言葉で伝えています。	52.3	59.6	61.2	60.2
14		なぜ、そうなるのか、理由をつけて話しています。	52.8	62.4	59.1	59.1
15	学習動機 学習意欲	自分の考えや意見を、具体的な例をあげ順序に気をつけながら話しています。	47.7	51.7	52.6	51.7
16		相手や目的に応じた話し方をしています。	75.1	83.7	81.2	81.5
17		学習を最後までやりとげて、うれしかったことがあります。	81.9	79.2	83.5	83.4
18		「もっと力をつけたい」、「分かるようになりたい」から勉強しています。	60.6	62.9	71.2	70.6
19		将来、仕事や生活の中で役に立つと思うから勉強しています。	56.0	75.8	75.0	71.8
20	全般	「やりなさい」と言われるから勉強しています。	47.7	52.2	44.0	44.6
21		ほめられたいから勉強しています。	27.5	30.9	25.4	26.1

22	全般	ふだん(月曜日～金曜日)、家では、1日何時間くらい勉強していますか。(学習塾や家庭教師との学習はのぞきます)	していない	9.8	19.1	8.9	10.4
			2時間以上	14.5	7.3	11.4	10.7
23	全般	休日(土曜日・日曜日・祝日など)、家では、1日何時間くらい勉強していますか。(学習塾や家庭教師との学習はのぞきます)	していない	10.9	27.0	12.6	13.8
			2時間以上	17.1	13.5	21.2	20.6

平成２２年度「基礎・基本」定着状況調査結果の分析【国語】

四領域の中では昨年同様、「聞くこと」に関しての通過率が最も高く、市の平均を上回っている。「言語事項」「読むこと」に関しては、市平均に近いものになっているが、「書くこと」に関しては市平均を大きく下回っている。全体の市平均も依然下回っている状態である。今後の取り組みとしては、昨年通同様、文章を理解しながら何度も読み、「考える」「発表する」という授業形態を定着させるとともに、語彙を豊かにし、多くの語句を用いて自分の考えを書く機会の多い授業を作っていきたい。また、国語力を高めていくために、週末課題等を用いて家庭学習の定着を図っていきたい。読書活動に熱心な生徒が多いので、読んでいる本の質を向上させる工夫を取り入れるなどして、日常の読書活動にも力を入れていきたい。

○「聞くこと」に関して

市の平均と比較して 2.2 ポイント高くなっている。１年生の時から行っている「聞き取りテスト」の効果で、「聞く力」が身に付いてきていることによるものであると考える。今後はさらに、メモを取りながら話を聞くという活動を増やし、聞いたことを正確に伝える力を付けていく事を意識したい。これらは日頃の授業だけでなく、日常生活においても「聞くこと」の意識化を図る工夫をさらにしていきたい。

○「書くこと」に関して

領域全体では市平均より 6.3 ポイント下回っている。また、全体での無回答率が 10.5 ポイントと他の領域に比べて高い。これらは文章を書くことへの苦手意識や抵抗感の強さが依然としてある事を示している。なかでも、「記述する内容の整理」「文章全体の構成」を苦手としている生徒は多く、課題である。定期テストにおいて、毎回「書くこと」に関する出題をしてきているが、適切な構成で文章を書いたり、根拠をもって考えをまとめたりする場面で力不足が見られる。しかし、文例を示し、それを参考に作文をさせると、比較的工夫して作文を書くことが出来ることから、書き方のノウハウさえ押さえれば文章を書くことの出来る生徒が多くいることも分ってきた。今後も、書く力を伸ばすために、文章をしっかりと読み、考える学習を積み重ねるとともに、伝えたいことの内容をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書く指導をしていきたい。

○「読むこと」に関して

領域全体は市平均より 2.1 ポイント下回っている。昨年同様、文学的文章の方が、説明的文章より正答率が高い。特に市平均と差があったのは、「要旨の把握」「文章の構成・展開」の部分である。ここから、文章から抜き出す問題に関してはある程度出来るが、読み取った文章をまとめたり、適切な語句を用いて言い換えることが苦手な傾向が見られる。「読むこと」と「書くこと」を連動させた活動を増やしていきたい。

○「言語事項」に関して

領域全体では市平均を 0.5 ポイント下回っているが、ほぼ市平均に近い数値が出ている。これは、１年生の頃から定期的に行っている漢字テストの成果であると考え。また、週末課題を用い、授業で学習した語句の定着を計っていることにも効果があると考え。しかし、漢字の書き取りの通過率が低いことから分かるように、字を正確に書き取る能力に課題があるため、今後もうくり返し学習を行うことが必要である。語彙も乏しいため、なるべく多くの語句を授業や課題で取り入れ、言葉への関心を高めるとともに、身につけた言葉を活用する力をつけていく。意味や用法などを丁寧に指導していき、文脈に即して漢字を使用できる力を身につけていきたい。また、日頃から既習漢字を使用して文章を書くよう助言・指導を徹底していきたい。

国語教科平均通過率 中広中73.1(昨年度72.5) 広島市74.9					
領域	大問	小問	課題内容	中広中	広島市
聞くこと	領域全体			88.1	85.9
	一	1	話し相手の意図をとらえる	98.4	96.9
		2	意見を支える理由をとらえる	77.7	74.9
書くこと	領域全体			65.3	71.6
	五	記述	記述する内容の整理	73.6	83.4
		構成	文章全体の構成	62.7	72.3
		記述	理由を整理して書く	69.4	76.0
		記述	意見を支える適切な理由を書く	55.4	54.8
読むこと	領域全体			69.6	71.5
	三	2	文脈の中における語句の理解	90.7	92.8
		3①	登場人物の把握	81.3	81.8
		3②	登場人物の心情の把握	91.2	91.6
		3③	登場人物の心情の把握	47.2	50.1
	四	2	段落相互の関係の理解	50.8	48.5
		3	要旨の把握	58.0	61.4
		4	文章の構成・展開	67.9	74.3
言語事項	領域全体			76.1	76.6
	二	1①	小5漢字 (音読み)の読み	99.0	98.9
		1②	小3・5漢字 (音読み)の書き	77.2	80.9
		2	小5漢字 (音読み)の書き	92.2	88.3
		3	事象や行為を表わす多様な語句	79.8	82.3
		4	主語・述語の関係	44.0	48.1
		5	文語のきまり	69.4	68.6
		6	行書の基礎	53.9	46.0
	三	1	小4・3漢字 (音読み)の書き	72.5	79.1
	四	1	小3・3漢字 (音読み)の読み	96.4	97.2

平成22年度 「基礎・基本」定着状況調査の分析(数学)

全体的に、どの領域を見ても通過率が市よりも低く、数学の学習について苦手意識が強い結果となっている。小学校で、算数、特に分数の計算でつまづいている生徒もいるし、数学は難しい教科、やってもわからないという意識を持っている生徒もたくさんいる。宿題などの与えられた課題をやって来ない、ノートに書かないなど、基本的なことができない生徒もいる。また、学力の定着のために必要な「反復学習」に粘り強く取り組むことを好まない傾向もある。やらされればやるが、わかるまで(納得がいくまで)やろうとする遅しさにも欠けている。

基本的な計算の反復練習を継続して行いつつ、文章をじっくりと読み、内容を理解し、じっくりと考え、取り組む学習をしていく必要がある。本来の数学とは、問題をしっかりと捉え、じっくりと思考し問題を解決する力であり、そこが数学のおもしろさである。単なるドリル学習の繰り返しに終わるのではなく、生徒がじっくりと考える数学の授業を構築していく必要がある。

【数と式】

問題 1 については、80%以上の通過率であり、特に整数や小数の計算はしっかりと定着しているといえる。しかし、分数の除法は62%と低くなっている。**問題 2** については、正負の数を活用して理由を説明する問題ができています。**問題 3** の文字式の意味を読み取る問題、1次方程式を立式する問題、**問題 9** の文章題を読みでてくる数量の関係を文字式で表す問題の通過率は、53%, 50%, 37%と低く、文章から内容を読み取りじっくりと考えることや、その考えを式を使って表現する力が弱い。

【図形】

どの問題も基本的な問題で、ねじれの位置、立方体の展開図、点対称、垂直二等分線の作図など、図形に対する大まかな知識をもっていれば解ける問題はまずまずの結果が出ているが、**問題 4** の直線と平面の垂直な位置関係は43%と低く、「直線と平面」と種類の異なるものの位置関係の把握が苦手であることが分かる。また、**問題 5** については、おうぎ形の面積や円すいの面積を求める問題では公式を忘れており、57%, 48%と低く、知識の部分の定着ができていない。

【数量関係】

問題 6 の、表を見て数値の関係を考えれば正解できる反比例の対応表を完成させる問題の通過率は72%、**問題 8** の、1つのグラフから数量を読み取れば答えられる問題の通過率は79%である。しかし、**問題 6** の、文章を読んで比例の式を作る問題や、**問題 8** の、2つのグラフを関連づけて考察する問題の通過率は、38%, 58%と低く、数量の関係を理解できていない生徒も多い。

【資料の活用】

今年度より、追加された領域である。他の領域と比べると、通過率が54%と最も低く、広島市の通過率との差も最も大きい。表にあるデータが何を表していて、それをどのように見て、どのように活用したらよいのかを判断できていない。資料の見方が定着していないと思われる。

【 数 学 】 中広中学校 6 7 . 6 [6 3 . 5] 広島市 7 1 . 0

領域	大問	中間	設問のねらい	中広中	広島市
数と式	領域全体			7 2 . 1	7 5 . 0
	1	1	小数の加法	9 2 . 2	9 0 . 1
		2	() を用いた計算	9 2 . 2	9 0 . 9
		3	分数の除法	6 2 . 7	7 3 . 0
		4	累乗の計算	8 5 . 5	8 6 . 3
		5	式の値	8 8 . 6	8 8 . 6
		6	一次式の減法	7 4 . 1	7 7 . 7
		7	一次方程式	7 9 . 3	8 2 . 0
	2	1	正負の数の大小関係	7 4 . 1	7 8 . 2
		2	正負の数の利用	7 2 . 0	7 4 . 1
		3	正負の数の活用	6 1 . 1	6 0 . 3
	3	1	文字式をよむ	5 3 . 9	6 4 . 0
		2	一次方程式の作成	5 0 . 8	5 4 . 8
	9	1	数量関係を見つける	8 5 . 5	8 6 . 9
		2	関係を文字式で表す	3 7 . 3	4 2 . 7
図形	領域全体			6 5 . 5	6 8 . 0
	4	1	垂直な面	4 3 . 0	4 5 . 7
		2	ねじれの位置	8 2 . 4	8 4 . 3
	5	1	おうぎ形の面積	5 7 . 5	5 9 . 9
		2	円すいの体積	4 8 . 7	5 1 . 8
		3	展開図	8 5 . 5	8 6 . 2
		4	点対称	7 1 . 0	7 2 . 9
		5	垂直二等分線の作図	7 0 . 5	7 5 . 2
数量関係	領域全体			6 2 . 3	6 6 . 7
	6	1	反比例の表の完成	7 2 . 0	7 4 . 4
		2	比例の意味	3 8 . 9	4 8 . 2
	8	1	グラフの考察	7 9 . 8	8 2 . 4
		2	グラフの考察	5 8 . 5	6 1 . 9
資料の活用	領域全体			5 4 . 7	6 2 . 5
	7	1	度数分布表の理解	6 8 . 9	7 6 . 1
		2	相対度数の意味	4 0 . 4	4 8 . 9

平成22年度「基礎・基本」定着状況調査結果の分析(英語)

教科全体の平均において広島市の通過率から約2ポイント下回っている。領域別に比較すると、「聞くこと」と「読むこと」では3ポイント、「書くこと」では1ポイントほど広島市の平均通過率を下回っているが、「話すこと」では、ほぼ同率であった。

昨年度から引き続き個人またはペア活動で教科書の暗唱・発表をして生徒達自身も前向きに取り組んでいる。しかし少人数指導から一斉授業へと変わった流れで、発表の場が少なくなったことや内容に関していねいに指導しきれていないことが今後の課題でもある。授業のなかでの「書くこと」への指導はこれからも検討課題ではあるが、昨年度から続けている毎日ノートで授業や語彙の復習をしっかりとさせるようにしていきたい。2年生になり毎週の提出状況が下降気味のクラスもあるが、根気よく指導を続けていきたい。

全体的に見ると、学習意欲を高めるための指導内容の工夫とコミュニケーション活動の場面を増やしていくこと、家庭学習で復習することが今後の英語学習につながっていくと考えられる。

<誤答分析による課題と今後の授業づくり>

○「聞くこと」に関して

リスニング問題は、会話文を聞き取ったり、問いかけに対する応答に関する問題で誤答率が高い。授業の中で、英問英答の機会やALTの先生と連携してリスニングの機会を増やす取り組みをしたい。

○「読むこと」に関して

辞書の引き方や音読では、どちらも平均を上回る成績で今後も音読指導を継続させたい。会話の内容を読み取ったり流れに沿った応答をする部分が弱いので、重点的に指導していきたい。

○「書くこと」に関して

基本的な文のきまりや場面に応じた英文を書くことは概ね理解している。自分の考えや気持ちを読み手に正しく伝わるように書くことに課題が見られる。習った文法を使って自分の気持ちや考えを英語で表現できるように指導をしていきたい。

○「話すこと」に関して

自分の考えや気持ちを相手に伝わるように話すことや積極的にコミュニケーションをとろうとする態度が弱い。日頃の授業の中で、間違いをおそれず積極的に英語を使うことができるように活動の場面を増やしていきたい。

領域	大問	中間	小問	設問のねらい	中広中学校	広島市 平均通過率
聞くこと	領域全体				74.8	78.1
	1	1		リスニング問題（質問への適切な応答）	63.7	69.4
	1	2			70.5	76.0
	1	3			87.0	88.6
	2	1		リスニング問題 （会話の内容の理解と質問への適切な応答）	75.1	77.9
	2	2			72.5	80.4
	2	3			76.2	78.0
	3	1		リスニング問題（概要や要点の把握）	54.4	54.5
	3	2			81.3	83.9
	3	3			92.7	94.2
読むこと	領域全体				62.6	64.7
	4			辞書の初歩的な使い方	86.0	79.1
	6	1		適切な語を用いた会話文の組み立て	77.2	80.4
	6	2			63.2	66.8
	6	3			47.7	52.8
	6	4			20.2	23.4
	7			中心となる事柄の把握	74.6	79.3
	8			会話の流れの理解	74.6	76.3
	9			話の流れの理解	36.3	41.7
	実技音読			内容を考えた音読	83.4	82.4
書くこと	領域全体				46.6	47.5
	5	1		基本的な文のきまりを理解した作文	49.2	43.1
	5	2			42.0	42.3
	10	1		自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと	50.3	51.2
	10	2			39.9	47.2
	11	1		会話の場面に応じて適切に英文を書くこと	55.4	55.1
	11	2			53.9	54.8
	12			つながりのある英文を書くこと	35.8	39.0
話すこと	領域全体				74.1	74.5
	実技	1		あらかじめ読んだ文章についての問答 自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話すこと	71.0	66.5
	実技	2			94.8	89.5
	実技	3			64.2	66.3
	実技	4			46.6	55.1
	実技	関・意・態		コミュニケーションへの積極性 コミュニケーションの継続	93.8	95.0

